**第７７回全国レクリエーション大会2023 inとくしまプレ大会**

親子三代 どか点ティーボールの部要項

**1 特　徴**　 ティーボールとは、ピッチャーのいない野球型のスポーツです。バッティング

ティーの上に柔らかいボールを乗せ、力強くバットでボールを打ちます。遠くに飛んだときの爽快感は格別です。ティーボールの合言葉は「みんなで、笑顔で楽しむ」ことです。誰もが手軽にできるティーボールを芝生の上でいっしょに体験しましょう。チーム編成は、こどもの遊び仲間を中心に、その保護者や、おじいさんやおばあさんの親子三世代でチームをつくって参加してください。

**2 チーム**　 出場選手は10人で行います。（こども5人と保護者5人）

　　　　　 選手登録は、こども10人、保護者等10人の20名以内とし、選手以外でベンチに入れるのはスタッフ3名以内とします。

**3 服　装**　 運動のできる服装で、運動靴を着用してください。

**4 用　具**　 ➀ボール・・・ティーボール協会公認11インチボール

（柔らかく素手で扱います）

　　　　　 ②バット・・・ティーボール協会公認バット

　　　　　　　　　　 　 （プラスティック製で、身長に応じた長さの違うバットを用意し

ます）

　　　　 　③ティー台・・ティーボール協会公認ティー台

　　　　　　　　　　　　（身長に応じて高さが調節できます）

　　　　　 ④ベース及びビブス（打順に合わせて着用）

以上は、主催者が用意します。

　　　　　　※グローブ・・・使用は自由。必要な方は各自で用意してください。

**5 競技のルール**

**（競技場について）**

（1）塁間の距離は、12ｍとする。

（2）塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野マーカーと外野マーカーの間を走

る。

（3）本塁、バッターズサークルは、本塁プレートを基点の半径1.5ｍに円を描くようにライ

ンを引く。

（4）バッティングティー台は本塁ベースより後方50cm以内に置く。

（5）本塁での得点は、バッターズサークルに打者が入ったときに得点とする。

（6）守備ライン（内野ライン・外野ライン）・ホームランラインは、以下の通りとする。

　 ① 内野ライン及び外野ラインは引かず、内外野手の守備位置の目安にマーカーを置く。

② ホームランラインは30mとする。

打者はボールが本塁手へ返球されない場合は、一塁（1点）・二塁（2点）・三塁（3点）へと回り、本塁（4点）に戻ったら、2周目に入り、更に一塁（5点）・二塁（6点）・三塁（7点）へと回ることができる。その都度得点が加算される。

（7）バッティングティー台の後方5ｍに、攻撃側ベンチの安全ラインを引く。

**（ゲームの進め方）**

（1）攻撃側10人の打撃(事前に付けたビブスの番号が打順)が完了すると、攻守を交替す

る。

（2）大人がゲームに参加できるのは5名以内とする。

（3）試合は3イニング制とする。

（4）選手の交代はビブスの交替により行う。

**（打撃について）**

（1）打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし。

（2）打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。

（3）走者は、塁ベース後方の打者走路をしっかり走る。

**（守備について）**

(1) 守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「オーケー」とか「まかせた」などと声を出して捕りに行く。

（2）ボールを捕った守備者は、本塁近くにいるティーボールティーチャー（審判）へ返球

する。

**（得点）**

（1）ティーボールティーチャーは、ボールをバッティングティーの上に置き，手を離した

時、打者の回った塁の数が得点となる。同時は得点とする。

（2）指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁（バッターズサークル）を超えたなら「4点」、それでも返球されない場合には、2周目で一塁を回ったら「5点」と大きい声で打者走者の得点を数える。審判員（ティーボール・ティーチャー）はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

**（約束）**

(1) 打者チームの全選手は、バッティングティー後方5ｍの打者チームのベンチライン

（安全ライン）後方で応援する。

（2）守備選手は対戦チームと同数とする。

（3）ゲーム開始と終了の際には両チームは、整列し、

挨拶を交わす。